

休日には仲間と 体験型しじゃーはいかが

グリーンファーム観光農業公園 鹿児島市喜入

まだまだ寒いこの季節、休日は、つい暖かい家でゴロゴロとしてしまいませんか？それ、実はとってももったいない過ごし方かもしれません。寒いからこそ、自然豊かな場所でも心も体も温まる体験をしてはいかがでしょうか！今回、タイムズスタッフ8名は鹿児島市喜入で41.3ヘクタールもの広大な敷地の中で、様々な体験活動ができる「グリーンファーム鹿児島市観光農業公園」を訪れて奮闘してきました。

にんじん収穫に 大興奮

屋根のソーラーパネルが目印の「交流体験館」で料金の100円を支払い、い



錦江湾を遠くに臨む景色も心をスッキリさせてくれる。

本格もちピザに お腹も大満足

まず、本格的に生地づくりから始めます。小さいポリ袋の中で薄力粉などの粉とぬるま湯を混ぜ合わせ、生地をこねる作業です。これがなかなか難しく、水と粉が上手く混ざらず大変なことに。でも、諦めずに皆で交代しながらこね続けると、少しずつ固まってきたてひと安心。部員のきずなも深まりました。生地は、徐々に触り心地がベタベタからツルツルへと変わっていき、とても新鮮な感覚でした。担当の瀧理香（しづえ

りか）さんによると、生地は手の温かさで変わるらしく、体温が高い子供などが作った生地はふっくらとモチモチしたものになり、体温が低い人が作った生地はパリパリで縮まった生地になるそうです。

完成した生地を均等に丸の形へと伸ばして、いよいよ具材を乗せます。ピザソースの上に、ソーセージ、トマト、ピーマン、玉ねぎなどを、そして、主役の小さく正方形にした紅白餅、たっぷりのチーズを乗せていきます。バランスよくちりばめていくと、焼く前から食欲がそそられる具材たっぷりのピザへと変わっていき、5百度から6百度まで温められていた本格焼き窯で、4〜5分焼き上げ、見事完成！ピザは、口に入れた瞬間、表面はサクッ



餅とチーズがとろとろの、とってもおいしいピザになりました。

エコも学べる はがき作り体験

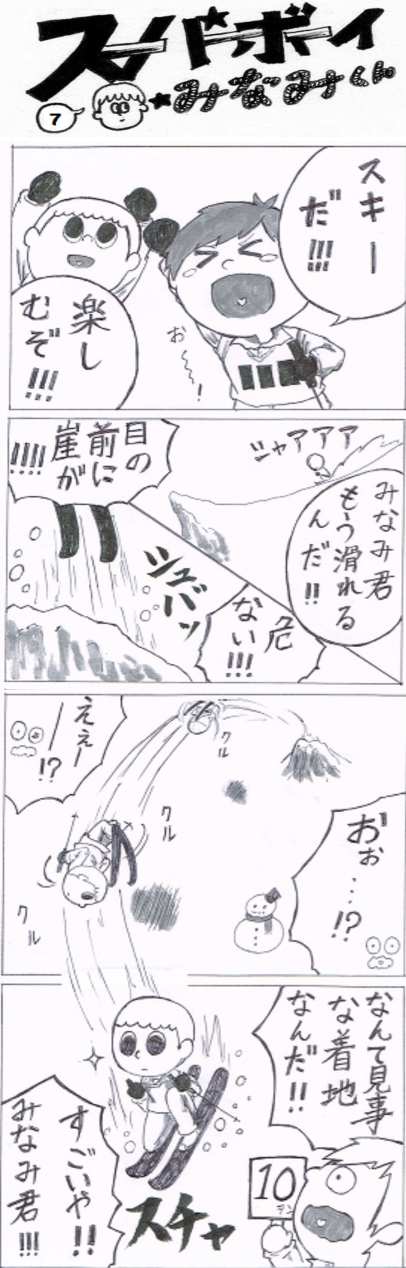
「野菜紙すきハガキ」製作は、紙パックを使ってハガキを作る体験です。紙パックはリサイクルができ、例えば、牛乳パック（1リットル）6本でトレットペーパー（一巻65m）を作ることができます。10本あればティッシュペーパーをなんと一箱作ることができます！

用意するものは牛乳パックのバルブ（1パックの8分の3の量）、水350ミリリットル、粉末洗濯のり1グラム、水4リットル＋粉末洗濯のり5グラム、にんじんの葉です。今回はにんじんを着色に使用しました。

まず、①牛乳パックを縦に切り、20〜30分程度お湯で煮る。冷めたら両面のフィ



4人で苦労してピザ生地をこねたことで、きずなが深まったように思います。



JR喜入駅近隣の喜入駅東バス停から路線バスで約15分。急な坂道を登ると、緑豊かなグリーンファームが見えてくる。



ルムを剥がす。③3枚のパルプと水350ミリリットル、粉末洗濯のり1グラムとにんじんを30秒ほどミキサーにかける。④厚さ1センチの木枠の上に網をのせ、さらに厚さ3センチの木枠を網の上にのせて両端を輪ゴムでとめ、粉末洗濯のりを加えた水の中に木枠を浮かべてミキサーの中身を注ぐ。④パルプが平らになるよう木枠をゆする。⑤にんじんの葉を中に軽く沈める。今回はにんじんの葉を使用しましたが、自分好みの花や葉を使用してOK。⑥木枠を取り出し輪ゴムと木枠をはずす。⑦もう一枚網をかぶせしっかりと水をきる。⑧網を取って、あて布をしたアイロンで約10分間乾燥させる。⑨新聞紙などに挟み重しをのせて10日間ほど置いたら完成！はがきは切手をはって出すこともできます。担当の下津琴代（しづえ）さんは「準備が大変だけど来てくださった方が自然に興味を持ってくださることがうれしい」と話してくださった。楽しい製作を通してリサイクルの大切さも学べました。

人々の優しさに学んだ4日間

2年 修学旅行



2年5組 東 奈菜さん

長野スキー ディズニースキー

12月13日〜16日までの3泊4日、2年生（300名）は修学旅行で長野県と東京都などを訪れた。当初は、福島県と東京都を中心とした目的地で計画されていた修学旅行だったが、出発の21日前の11月22日午前5時59分ごろ、福島県沖を震源とする震度5弱を観測する地震が発生した。東日本大震災の発生以来最大の地震であり、現地の人々が高台に避難する様子がテレビで繰り返し報道された。本校は、4年前から福島県の被災地見学等を含む修学旅行を実施していたが、安全上やむを得ず急きょ旅行先を変更しての実施となった。旅行先の変更には、学校はもちろん旅行会社をはじめ多くの関係者の尽力があったという。まずは、修学旅行が無事実施できたことに感謝したい。



澄んだ青空と雪山のコントラストが美しい。スキー文化体験となった。

児島空港へと向かった2年生一同は、ANA便とJAL便に分かれ羽田空港へ向かった。空港からバスでディズニースキーに到着するまでの間、バスガイドさんの声に耳を傾けながらお弁当を頂いた。バスを降り、いよいよディズニースキーに入場するために、チケットのQRコードをかざしてゲートを開けた時スタップに「おかえりなさい」と声をかけられた。ホスピタリティあ

せてスタップの雰囲気も違うのに興味深かった。また、人が大勢いるのにトイレが清潔で使いやすいくとも感動した。

ディズニースキーは、今年度15周年記念で、私たちに与っては最高のタイミングで、特別なディズニースキーを満喫することができた。ショーの花火やレーザー光線がきらめく夜まで夢の世界を満喫した私たちに、ゲートを出るとき、スタップたちは「いってらっしゃい」と言ってくれた。

最終日の早朝、「おこみん」（志賀高原のPRキャラクター・左）とインストラクターの皆さんに見送ってもらい、高原を降り、東京都お台場へ向かった。途中、外国人の来日のため渋滞して時間がかかったが、お台場では幸いに約一時間、お昼を食べたりお土産を買ったりすることができた。

3泊4日の修学旅行は高校生活の中で一番思い出に残るものとなる人も多いだろう。そして、私は、今回の旅行では、人の優しさにたくさん触れたことが印象に残っている。

雪景色とスキーに 感動の体験

1日目、まだ日が昇らないなかバスに乗り込み、鹿

2日目、ディズニースキーのロマテウス火山を背に、私たちは一路高速道路を長野県の志賀高原へと向かった。4時間あまりの移動時間もバスガイドさんのめずらしい話を聞いたり、カラオケをしたりと、それぞれのクラスで充実した時間を過ごせた。信号機が雪国仕様の縦型に変わり、車窓の景色がりんご畑になり始めたころ、雪が降り始めた。志賀高原のホテルに到着すると、すぐにスキーウェアに着替



15周年記念のディズニースキーは本当に夢の国！キャストの一つ一つの言動に感動だった。

したい。



